

健康ぷらざ

No.202

企画:日本医師会

「乳がん検診」を受けましょう

— 患者さんが若年化、しかも増えています —

欧米で多いといわれている乳がんは、日本でもここ20年間に2倍に増えて、成人女性のがんの中で最も多くなりました。

昔は50歳前後の患者さんが多かったのですが、このごろでは40歳代、30歳代でも増えてきています。

その原因ははっきりせず、ライフスタイルの変化や、出産回数の減少が影響していると考えられています。

原因がわからない以上、早期発見、早期治療が第一。

若い時からの定期的な自己検診が大切です。

万一乳房にしこりを触れたときには、かかりつけ医に相談して

乳がんの疑いがあれば専門医に紹介してもらいましょう。

40歳になったら2年ごとに

マンモグラフィ検査を受けるようしましょう。

乳房超音波検査が有効なこともあります。

いずれの検査も熟練を要するので、

できるだけ専門の施設で検査を受けてください。



定期的な自己検診

早期発見、早期治療

マンモグラフィ検査



指導・東京共済病院乳腺外科部長 馬場 紀行

◆待合室等に掲示し、患者さんにおみせください。